

# 北海道医療新聞

11月6日  
2009年・1802号

## オンライン法を特別講演

### あす札幌でヘルニア学会

第二回ヘルニアを学ぶ会(日本ヘルニア学会道支部主催)が七日午後一時から、中央区・札幌市教育文化会館で開かれ

る。外科医と看護師の参加を呼びかけている。特別講演は「オンライン法」の解剖を説明しよう―鼠径部解剖から見た十五年間の腹腔鏡下ヘルニア

修復術TAPP法の進化と変遷(早川哲史刈谷豊田総合病院副院長)。

「鼠径部の臨床解剖―前方アプローチの立場から」(宮崎恭介みやざき外科・ヘルニアクリニック院長)、「欧米におけるヘルニア治療のトピックス―第四回国際ヘルニア会議見聞録」(川原田陽KKR札幌医療センター斗南病院科長)の基調講演二題をはじめ一般演題六題、スポンサードプレゼンテーションも行う。参加費千円。当日会場で受け付ける。

玉川病院院長)と、「今こそ我々外科医が鼠径部の解剖を説明しよう―鼠径部解剖から見た十五年間の腹腔鏡下ヘルニア

2009年(平成21年)11月13日

## メッシュ挿入前が重要

### 臨床解剖理解し手術を

#### ヘルニアを学ぶ会で宮崎氏

第二回日本ヘルニア学会道支部総会(ヘルニアを学ぶ会)が札幌市で開かれ、同支部の宮崎恭介代表世話人(みやざき外科・ヘルニアクリニック理事長)が「鼠径部の臨床解剖―前方アプローチの立場から」を講演した。写真。

鼠径ヘルニア修復術に必要な臨床解剖のポイントを、①皮膚から外腹斜筋腱膜②鼠径管内の構造

物③腹膜外腔(腹膜前腔)―に大別。鼠径管を開放する前方アプローチの手術に必要な局所解剖を、スライドを用いて紹介。①は、鼠径靭帯に当たる上前腸骨棘と恥骨

右側縁を結ぶ線の midpoint から、皮膚割線に沿った四五センチを斜切開する際、鼠径靭帯の midpoint の内側にある「内鼠径輪の真上で切開すると手術操作しやすい」とアドバイス。



②では、内鼠径輪の真上に到達すると、ヘルニア嚢が鼠径管後壁から鼠径管内に入り込んでいる状態や、内鼠径輪の内側で、さまざまなメッシュを活用して、「再発や痛みのない手術を」と締めくくった。

ヘルニア手術は「メッシュを挿入する前まで(の手法)が重要」とし、臨床解剖を理解した上で、さまざまなメッシュを活用して、「再発や痛みのない手術を」と締めくくった。